

中小企業景況調査報告書

2023年度第4・四半期（1～3月）



Cherry Blossoms on the Banks of Oguni River

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（100社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	30
卸売業	10
小売業	18
サービス業	30
合 計	100

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | | |
|---|---------|
| 〔 | 1位3ポイント |
| | 2位2ポイント |
| | 3位1ポイント |
- 〕

今 期 の 概 況

景況感後退傾向も、先行きは改善の見通し

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、採算のDI値で今期実績を上回り、従業員のDI値で横ばい、業況、売上、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

来期は、業績、売上、採算、資金繰りのDI値で今期実績を上回り、従業員のDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲18.2から▲24.0(5.8ポイント減)となり、来期は▲16.0(8.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績2.0から▲17.0(19.0ポイント減)となり、来期は▲5.0(12.0ポイント増)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲28.3から▲28.0(0.3ポイント増)となり、来期は▲23.0(5.0ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲13.1から▲17.0(3.9ポイント減)となり、来期は▲11.0(6.0ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績3.0から3.0(横ばい)となり、来期は0.0(3.0ポイント減)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲11.1から▲21.0(9.9ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲4.0から▲26.0(22.0ポイント減)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲13.1から▲15.0(1.9ポイント減)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(31件、22事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表3参照)は27件(20事業所)。その主な内訳は、『車両・運搬具』『OA機器』各6件、『工場建物』『生産設備』各5件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は32件(23事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』9件、『工場建物』『OA機器』各6件『付帯施設』5件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』、『需要の停滞』、『従業員の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈織物製造〉）

暖冬により重衣料は不振も、セーター、カーディガンなどニット製品はまずまず。今後は、経営者の高齢化でサプライチェーンが弱体化しているため、生産の内製化を進め、富裕層やインバウンド向けに高付加価値製品を強化する。

B社（製造業〈菓子製造〉）

国内分の不調を数年前に開始した輸出でカバーできるようになったため売上は確保できている。ただし、輸出の一部は一時的な取引であるため、引き続き新規顧客を開拓していく必要がある。

C社（建設業〈空調工事〉）

業況は安定しているが、大阪万博の影響で電線等、一部材料の仕入れが困難となっている。今後、スプリンクラーなどの調達などに影響が出る恐れや仕入単価が上昇する可能性がある。

D社（建設業〈電気設備工事〉）

受注は確保できているものの、材料費の高騰、人材不足、労働時間の短縮なども重なり工事に遅れが生じている。また、資材等の入手が難しく、早めに発注したため在庫過多になりがちである。

E社（小売業〈サンドイッチ小売〉）

北陸で大きな地震があったことが原因かはわからないが1月は苦戦した。以前、東日本大震災の時も、しばらく売上が良くなかった。1月末に名鉄百貨店一宮店が閉店したことで人の流れ、売上を注視する必要がある。

F社（小売業〈化粧品販売〉）

客数は減ったものの、客単価が上がったため売上は増加した。物価高で生活必需品ではない化粧品の購入を控えられる方が多いため、新規顧客を開拓しなければならない。

G社（サービス業〈飲食業〉）

原材料費の高騰については少し落ち着いている。お客様の財布のひもは固くなっているが、賃上げが実現し、経済がうまく循環することに期待したい。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R5. 1～3月	R5. 4～6月	R5. 7～9月	R5. 10～12月	今 期 R6. 1～3月	来期の見通し R6. 4～6月
業 況	▲ 5.0	▲11.1	▲11.3	▲18.2	▲24.0	▲16.0
売 上	16.0	10.1	11.3	2.0	▲17.0	▲ 5.0
採 算	▲27.0	▲27.3	▲22.7	▲28.3	▲28.0	▲23.0
資金繰り	▲15.0	▲15.2	▲10.3	▲13.1	▲17.0	▲11.0
従 業 員	▲ 9.0	1.0	9.3	3.0	3.0	0.0

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	30	10	18	30	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	1 (1)	6 (6)	1 (0)	2 (2)	1 (2)	11 (11)	▲ 24.0 (▲16.0)
	不変	11 (10)	13 (19)	4 (6)	7 (10)	19 (17)	54 (62)	
	悪化	0 (1)	11 (5)	5 (4)	9 (6)	10 (11)	35 (27)	
売上	増加	2 (2)	5 (6)	3 (2)	4 (4)	6 (8)	20 (22)	▲ 17.0 (▲5.0)
	不変	5 (9)	11 (16)	3 (4)	7 (8)	17 (14)	43 (51)	
	減少	5 (1)	14 (8)	4 (4)	7 (6)	7 (8)	37 (27)	
採算	好転	2 (2)	3 (5)	0 (0)	2 (0)	1 (2)	8 (9)	▲ 28.0 (▲23.0)
	不変	7 (7)	14 (17)	7 (7)	9 (11)	19 (17)	56 (59)	
	悪化	3 (3)	13 (8)	3 (3)	7 (7)	10 (11)	36 (32)	
資金繰り	好転	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	▲ 17.0 (▲11.0)
	不変	12 (12)	24 (26)	9 (9)	12 (14)	22 (26)	79 (87)	
	悪化	0 (0)	5 (4)	1 (1)	6 (4)	7 (3)	19 (12)	
従業員	増加	3 (0)	6 (4)	0 (2)	1 (0)	6 (3)	16 (9)	3.0 (0.0)
	不変	8 (12)	20 (26)	9 (8)	16 (16)	18 (20)	71 (82)	
	減少	1 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (2)	6 (7)	13 (9)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	20	来期	計画している ※2	23
	(事業所数)	実施していない	80	(事業所数)	計画していない	77

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	1 件	1 件	5. 付帯施設	0 件	5 件
2. 工場建物	5 件	6 件	6. O A 機器	6 件	6 件
3. 生産設備	5 件	9 件	7. 福利厚生施設	2 件	1 件
4. 車両・運搬具	6 件	4 件	8. その他	2 件	0 件
			合計	27 件	32 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R5.1～3月	R5.4～6月	R5.7～9月	R5.10～12月	今 期 R6.1～3月
業 況	▲10.0	▲10.1	▲13.4	▲11.1	▲21.0
売 上	▲ 8.0	14.1	▲ 8.2	▲ 4.0	▲26.0
資金繰り	▲10.0	▲14.1	▲12.4	▲13.1	▲15.0

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	30	10	18	30	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	0	4	1	1	0	6	▲ 21.0
	不 変	12	16	5	11	23	67	
	悪 化	0	10	4	6	7	27	
売 上	増 加	2	4	4	5	2	17	▲ 26.0
	不 変	8	11	2	4	15	40	
	減 少	2	15	4	9	13	43	
資 金 繰 り	好 転	0	0	0	0	0	0	▲ 15.0
	不 変	12	26	9	12	26	85	
	悪 化	0	4	1	6	4	15	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種 順 位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○材料価格の上昇	○従業員の確保難	○下請業者の確保難
製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○生産設備の不足・老朽化
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○人件費以外の経費の増加 ○従業員の確保難
小売業	○仕入単価の上昇	○消費者ニーズの変化への対応	○購買力の他地域への流出
サービス業	○材料等仕入単価の上昇	○人件費の増加	○利用者ニーズの変化への対応

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	14
材料の入手難	1
人件費の増加	1
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	5
下請単価の上昇	6
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	9
官公需要の停滞	4
民間需要の停滞	8
その他	0
合 計	66

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	5
生産設備の不足・老朽化	30
生産設備の過剰	3
原材料価格の上昇	39
原材料の不足	8
人件費の増加	22
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	15
金利負担の増加	2
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	31
その他	1
合 計	175

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	6
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	11
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
需要の停滞	14
その他 (販売先の減少)	3
合 計	52

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	3
同業者の進出	8
購買力の他地域への流出	13
消費者ニーズの変化への対応	14
店舗の狭隘・老朽化	12
駐車場の確保難	1
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	5
人件費以外の経費の増加	6
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	18
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	4
需要の停滞	10
その他 (ネット販売)	3
合 計	106

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	7
新規参入業者の増加	4
利用者ニーズの変化への対応	21
店舗施設の狭隘・老朽化	16
人件費の増加	22
人件費以外の経費の増加	14
利用料金の低下・上昇難	15
材料等仕入単価の上昇	30
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	14
熟練技術者の確保難	4
需要の停滞	12
その他	3
合 計	163

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) ー前年同期比ー

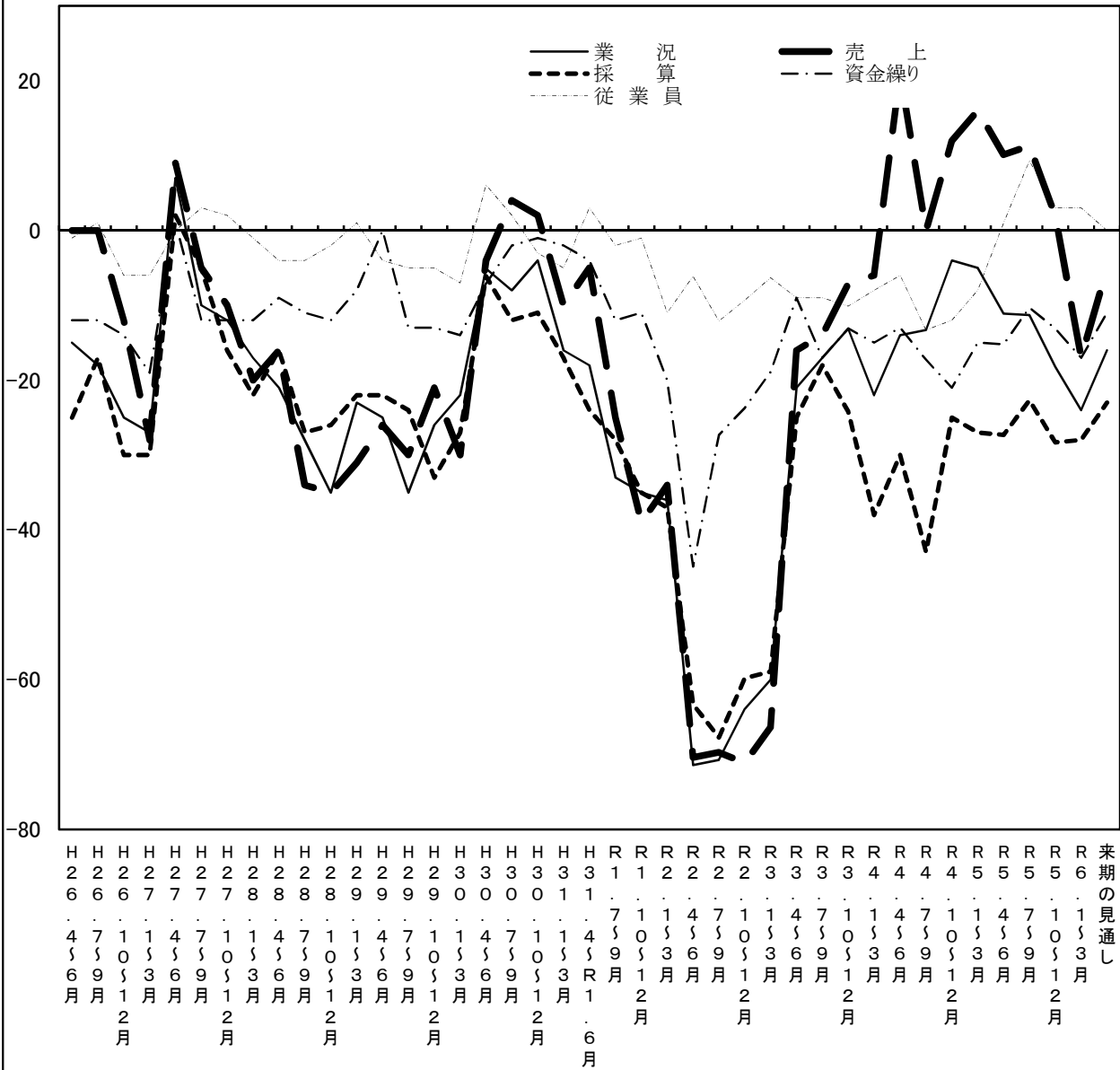


図 2

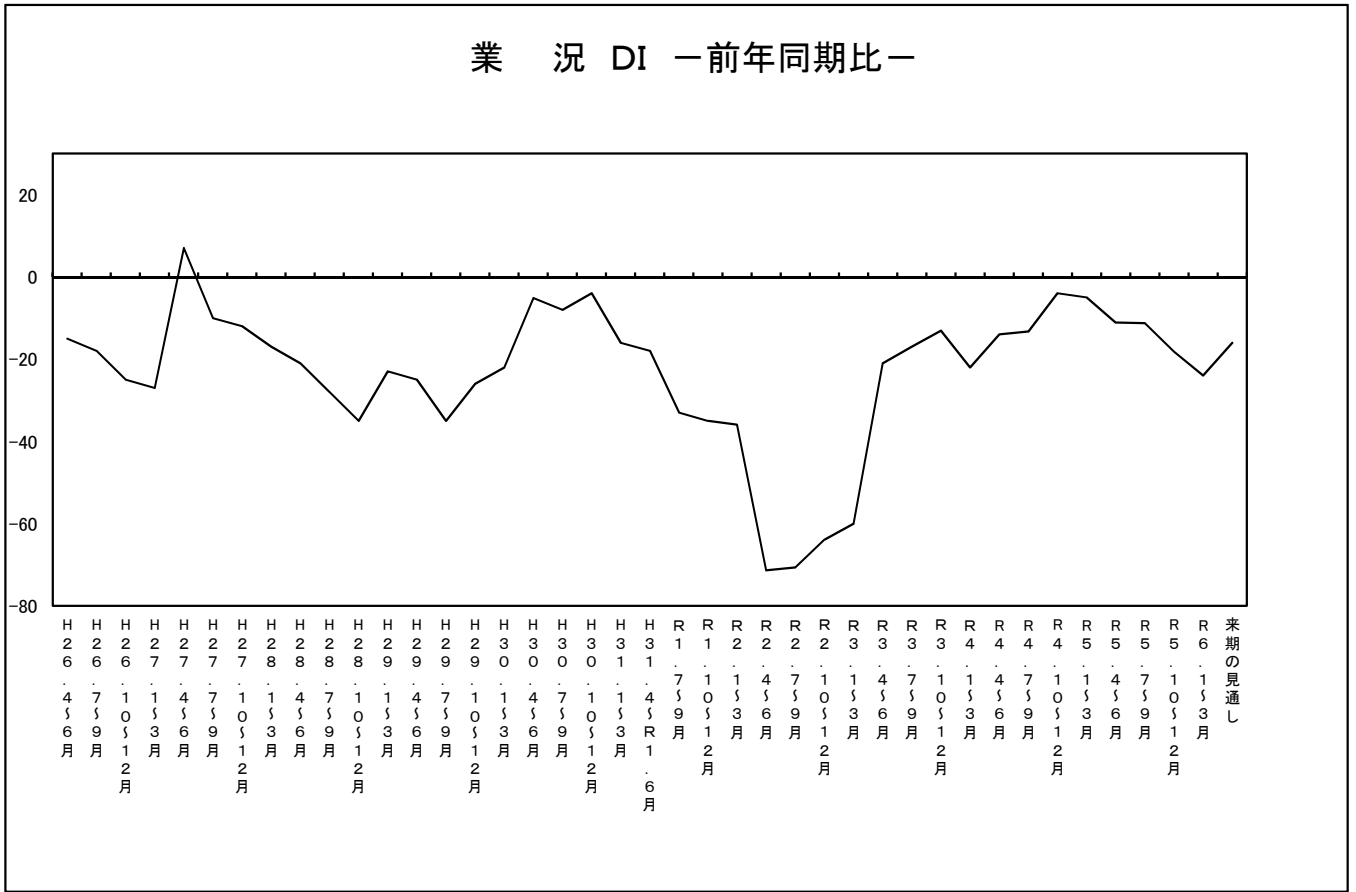
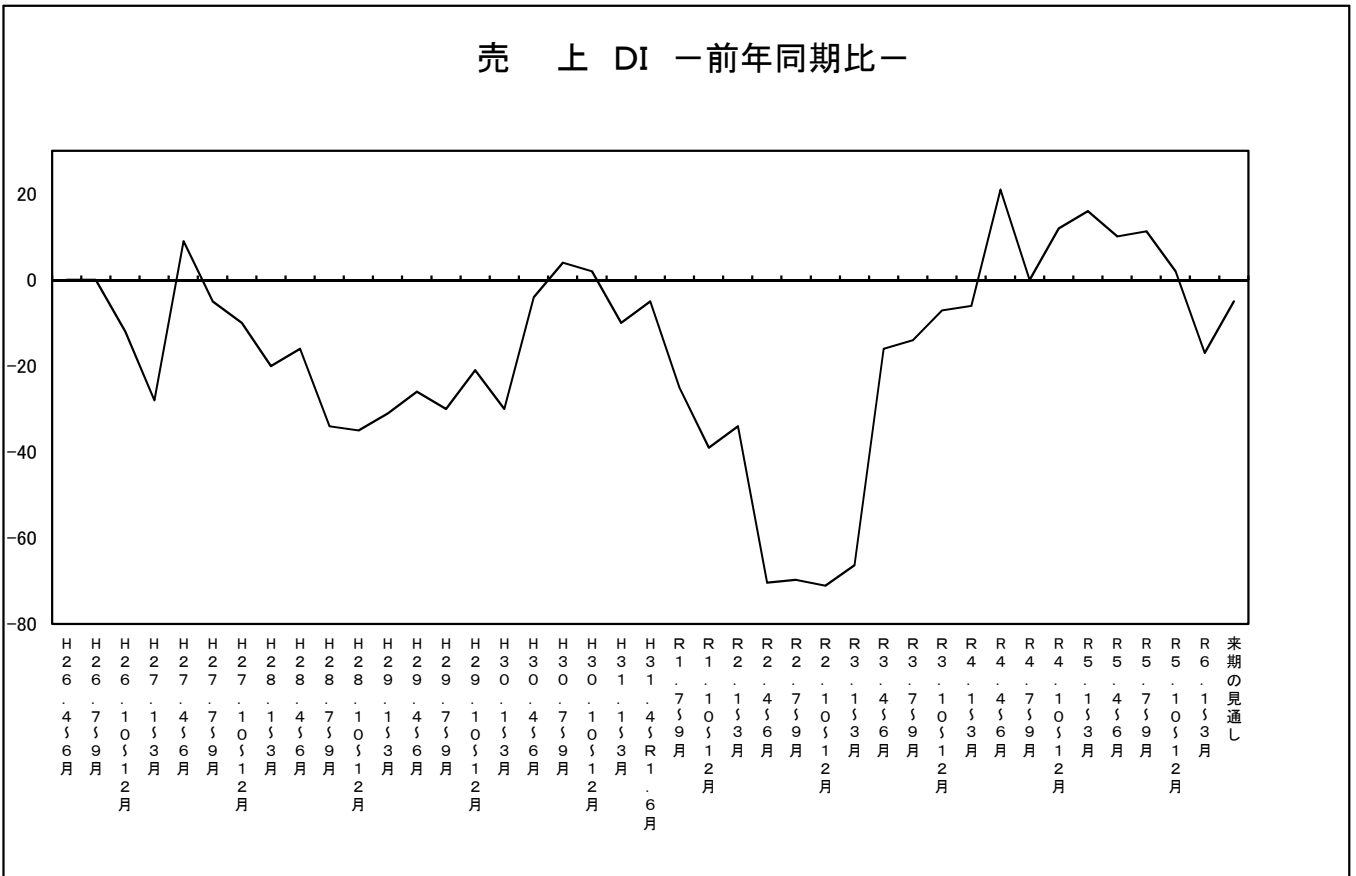
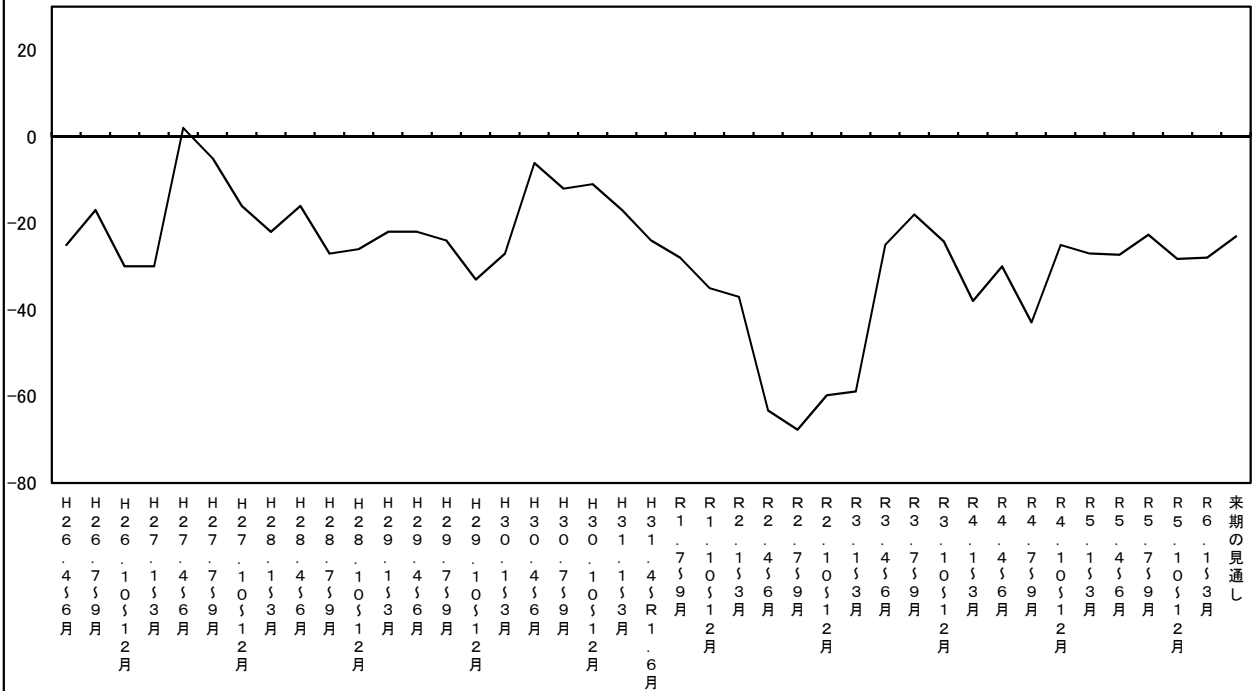


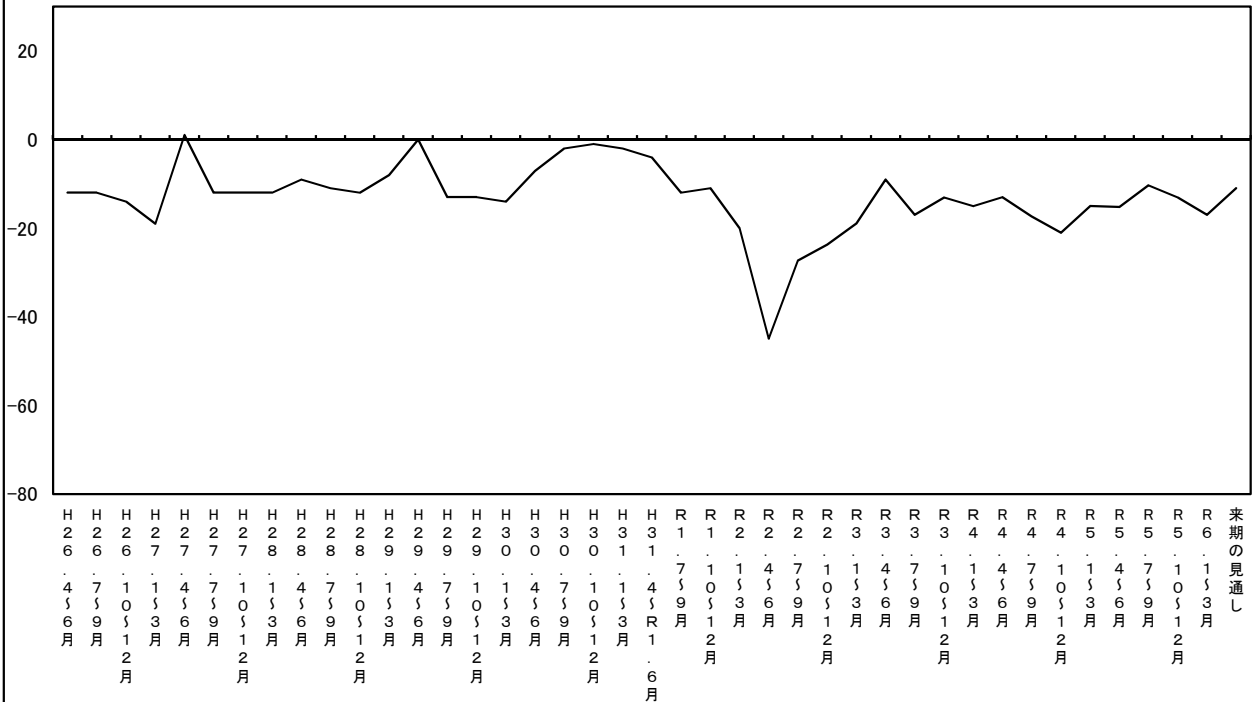
図 3



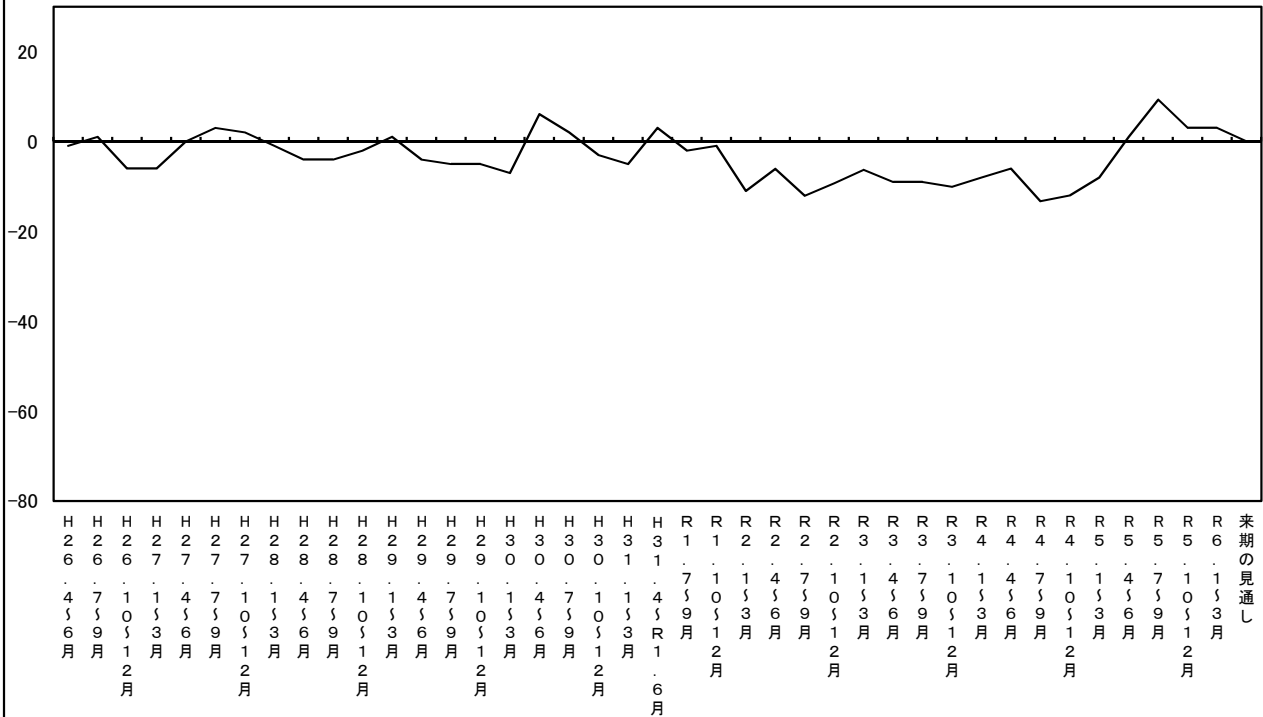
採算 DI - 前年同期比 -



資金繰り DI - 前年同期比 -



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp